

5 令和2年度の主な食料・農林業・農山村施策

埼玉県の強みを生かした、農林業の「稼ぐ力」、農林業に係わる「人財力」、農山村の「地域力」を高める県の主な取組をご紹介します。

食料・農業 成長する埼玉農業を支える担い手を育成する

担い手へ農地を集積・集約化するとともに、法人化等を支援することで経営力の向上を図ります。また、農業大学校等を活用し、経営感覚を身につけた新規就農者の育成を図ります。さらに、地域農業を支える多様な担い手として女性農業者や高齢者の活動促進、企業等の参入を支援することにより、埼玉農業の成長産業化を図ります。

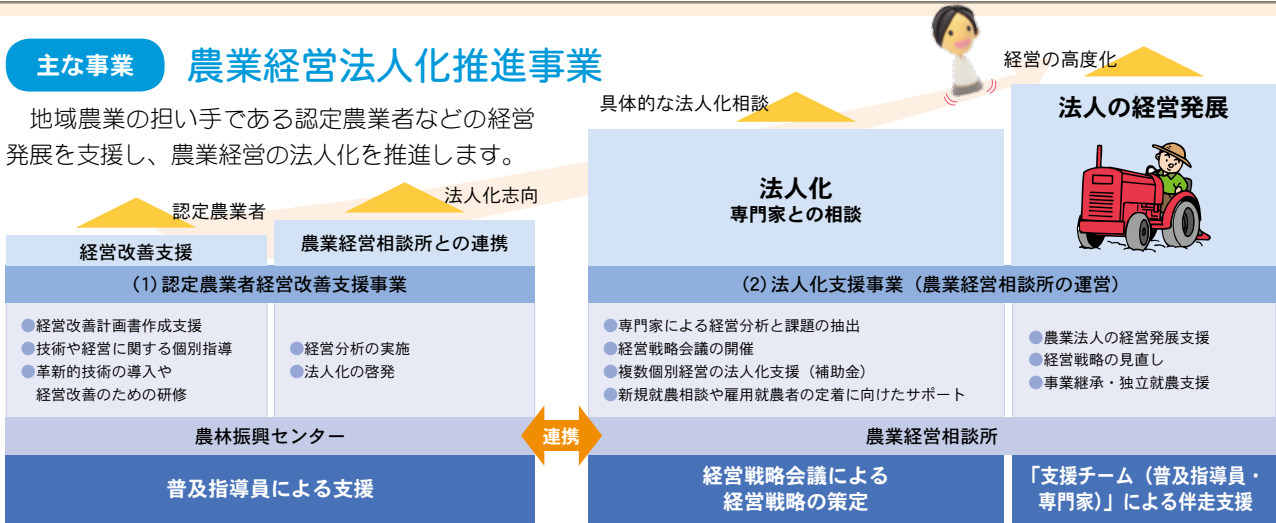
主な事業 明日の農業担い手育成塾推進事業

就農相談窓口の設置と「明日の農業担い手育成塾」の運営支援等により、農家子弟を含めた新規就農希望者の円滑な就農を促進し、多様な担い手の確保育成を図ります。



主な事業 農業経営法人化推進事業

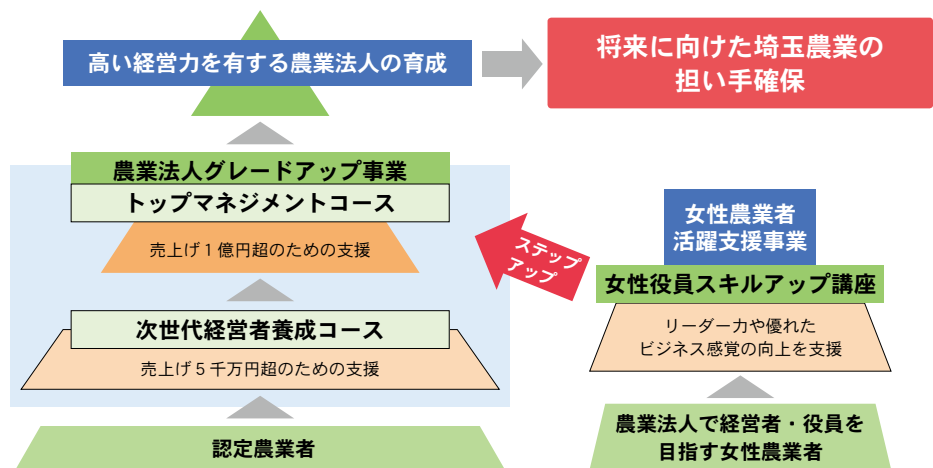
地域農業の担い手である認定農業者などの経営発展を支援し、農業経営の法人化を推進します。



主な事業

女性農業者活躍支援事業

農業法人で経営者・役員として活躍を目指す女性農業者を対象に、スキルアップと意識改革を図るための研修を実施します。



優良農地の確保と農地の有効活用を進める

農業生産の基礎となる優良農地を確保するとともに、農地中間管理事業をフル活用することにより、担い手へ農地を集積・集約し、農地の有効活用を図ります。また、低コストな農業生産基盤の整備や農業水利施設の長寿命化・耐震化を進め、生産性向上と災害の未然防止を図ります。

主な事業 農業生産を支える基盤の整備

農地の大区画化等により、農業生産性の向上と営農条件の改善を図り、農地の利用調整による経営規模の拡大や高収益を目指す農業経営体の育成を促進します。また、農業水利施設の整備により、用水不足や排水不良を解消するとともに、防災・減災上、重要な農業用ため池の耐震化と計画的な保全管理を推進し、自然災害の未然防止を図ります。

担い手を育む農地の整備

=ほ場整備事業=

- 農地の大区画化
- 耕作道を拡幅



農業水利施設の整備

=農地防災事業=

- 老朽化した農業用ため池等の整備



多彩な農産物の生産力を強化する

県内各産地の特徴を生かしながら、品目ごとに実需者ニーズに対応した生産体制の整備を支援するとともに、安定生産などに必要な新たな生産技術等の研究開発を計画的に実施し、県産農産物の生産力を強化します。

主な事業 スマート農業の推進

新たな農業技術を活用することにより、本県農業における「省力化」「効率化」「見える化」を進め、スマート農業を実現します。

研究開発

技術実証

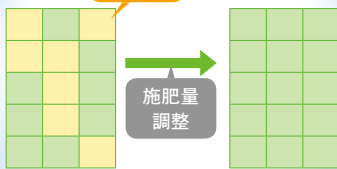
普及実装

埼玉スマート農業推進事業

- 梨の摘果判断アプリ
- ドローンを活用した水稲・麦栽培の省力化
- ビックデータを活用した病害虫発生予察ツール



生育不良



生育ムラあり

生育の均一化

予察情報のイメージ

- カメムシ発生予察(水稲)

発生ピーク予測	8月〇日
防除適期予測	8月×日
推定発生量	平年の△倍

スマート農業普及推進事業

- スマート農業普及推進研究会の設置
- モデル経営体の設置



(画像出典：農林水産省)

果樹産地再生支援事業のうち未来型果樹園実証展示事業

- 省力化生産モデルの実証試験地を整備
- 企業と連携した先端技術の実証



省力化樹形

施設園芸先端サポート技術導入事業

- 労働生産性の改善に必要な機械や施設の導入支援
- 生産・経営管理技術の確立・普及



電動作業車



無人防除機



AIかん水施肥システム

埼玉農産物の需要拡大を推進する

県産農産物の需要を拡大するため、大消費地の中の農業県、食品産業立地県である強みを最大限に生かし、地産地消、農業の6次産業化、農商工連携の積極的な推進など、県産農産物が消費者に選ばれ、喜ばれるという関係性の発展に取り組みます。

さらに、本県のブランド農産物やその加工品の新たな需要先として海外への販路確保に向けた支援を実施します。

主な事業 埼玉ブランド農産物推進事業

農業所得の向上と販路を確保した生産拡大を図るため、ブランド推進品目の効果的なプロモーション活動を展開し、埼玉ブランド農産物全体の認知度の向上及び消費拡大を推進します。

ブランド化総合戦略推進事業

●ブランド化推進の戦略構築 ●ポータルサイト等の運営



埼玉農業の
ブランド力向上・
県産農産物の消費拡大

埼玉ブランド 農産物推進事業	トップブランド 農産物推進事業	地域特産ブランド 推進事業
【対象品目（例）】 ●きゅうり ●ブロッコリー 【主なターゲット】 ●量販店、飲食店等の事業者 【主な事業内容】 ●バイヤー、事業者向け産地見学会	【対象品目（例）】 ●深谷ねぎ ●彩玉(梨) 【主なターゲット】 ●消費者 ●マスコミ 【主な事業内容】 ●量販店や駅等でのプロモーション	【対象品目（例）】 ●ちちぶ山ルビー(ぶどう) ●丸系八つ頭 【主なターゲット】 ●地域住民 ●観光客 【主な事業内容】 ●直販所等でのプロモーション

主な事業 狭山茶魅力発信型輸出促進事業

本県農産物の中で輸出品目として有望である「狭山茶」について、緑茶市場の拡大が見込まれるフランスへの輸出を拡大するため、産地に対する輸出実務の支援を行うとともに、フランスで開催される見本市に出展して「狭山茶」の魅力を発信します。



食の安全・安心を確保する

消費者の安全・安心な農産物への需要が高まる中、GAPの取組促進や農産物の残留農薬調査、適正な食品表示の徹底などにより生産から消費されるまでの各段階における食の安全・安心を確保します。

主な事業 埼玉スマートGAP推進事業

食品安全・労働安全・環境保全の取組をわかりやすく解説した県独自のGAP（S-GAP）の普及を推進し、農場管理の安全性と信頼性を一層向上させることで、県産農産物の安全・安心を確保します。また、流通・加工業者や消費者等のS-GAPに対する認知度の向上を図ります。



「伐って・使って、植えて、育てる」森林の循環利用の実現に向け、森の若返りの推進、林業生産性の向上、林業生産を支える担い手の育成を図ります。

主な事業 スマート林業の推進

林業従事者数が減少し、木材価格が低迷する中で、維持・発展させていくために、ICT 技術を活用し、森林資源情報の精度の向上や素材生産の省力化を進め、生産性の向上を図ります。

県による森林資源調査の実施

- 航空レーザ、ドローンレーザを活用した資源調査の実施
- 調査等で得られたデータをもとに森林クラウドシステムを構築



林業事業者の取組支援

- 地上レーザ等の導入を支援し、高精度資源量管理を推進
- 丸太仕分け作業及び丸太自動認識システム等の導入を支援し、省力化を推進



県産木材の利用を促進する

県産木材の利用を促進するため、木材需要の多くを占める住宅分野での利用拡大やPR効果の高い公共施設等の木造化・木質化を推進するとともに、林地残材などの木質バイオマス利用を促進します。また、こうした県産木材の利用拡大を支える安定的な供給体制の整備を促進します。

主な事業 埼玉の木みんなを使って豊かな暮らし応援事業

高齢化した人工林の循環利用を推進するため、県産木材を使用して新築・増改築・内装木質化を行う住宅・事務所等を対象として、県産木材の使用量に応じ利用奨励の支援を行います。

県産木材の使用量に応じた助成

- 補助額：1戸最大34万円（新築・増改築：1㎡あたり17,000円 内装木質化：1㎡あたり3,000円）
 事業量：250戸相当
 条件：新築：県産木材を60%以上使用
 増改築：県産木材を3㎡以上使用
 内装木質化：県産木材を7㎡以上使用

補助



県産木材

住宅等

新築、改築、
内装木質化



森林を整備・保全する

水源涵養^{かん}、二酸化炭素の吸収、土砂災害の防止など県民生活を支える森林の様々な機能を持続的に発揮させるため、間伐、針広混交林化、獣害対策などを適切に実施し、100年先を見据えた多様で健全な森づくりを進めます。

主な事業 水源地域の森づくり事業

水源地域において、手入れの遅れやシカ^{しか}の被害等により荒廃し緊急に整備が必要となっている森林を対象として、針広混交林の造成や荒廃森林を再生し、水源涵養機能などの多面的機能の維持向上やスギ花粉^{かん}の削減、景観向上を図ります。

整備前



林内が暗くなったため下草が減り土壌流出のおそれがある森林

整備後



整備され針広混交林化しつつある森林

農山村における生活環境を整備し、地域資源を有効に活用することにより農山村と都市部の交流や移住などの人の流れを作ります。また、本県の農業は中山間地域から都市地域まで幅広く展開されているため、その地域の特性を生かした農業を支援します。さらに、農業の持つ多面的機能の維持と発揮、鳥獣害防止対策などにより農業生産活動の維持を支援し、活力ある農山村を創出します。

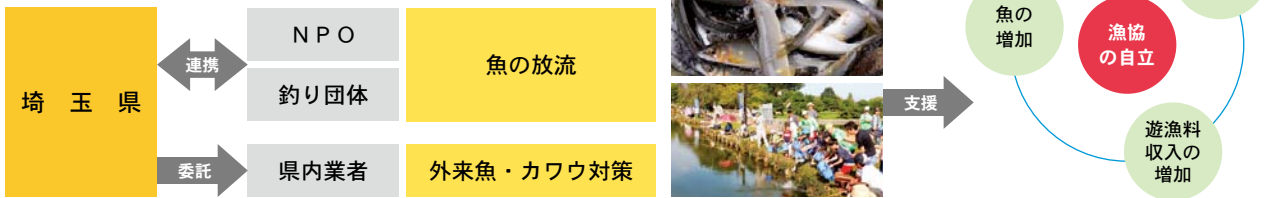
主な事業 未利用農地の利活用促進事業

未利用農地が比較的多い中山間地域において、農地の整備と地域特性を活かした農産物の導入を一体的に支援し、農産物の観光施設への供給などにより交流人口を増やして中山間地域の活性化を図ることで、未利用農地の利活用を促進します。



主な事業 魚影豊かな川づくり推進支援事業

外来魚・カワウ対策を支援することにより魚が増え、釣り人が増加し、遊漁収入の増加につながる好循環の仕組みをつくりまします。



県民の農林業・農山村を大切にする意識を醸成する

農林業・農山村の重要性を理解してもらうため、グリーン・ツーリズムや市民農園での活動、花育、木育といった体験・学習・交流など、県民が農林業・農山村に触れ合う機会をつくりまします。また、健全な森林を次世代に引き継ぐため、社会全体で森林を守る気運を醸成して、県民参加による森づくりを促進まします。

主な事業 みんなで育てる森づくり事業 ～森林ボランティア活動の拡大～

広く県民が森林の大切さを理解できるよう、森林活動を体験する機会の充実や森林ボランティアの活動等を支援まします。

